

講義名	応用プログラミング		
科目区分	学部専門科目		
担当教員	関 陽		
開講期・曜日・時限	前期 火曜日 2時限		
	2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 / 2014年度 サービス産業学部 観光学科 / 2014年度 総合政策学部 総合政策学科 / 2014年度 商学部 商学科 / 2013年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 / 2013年度 サービス産業学部 観光学科 / 2013年度 総合政策学部 総合政策学科 / 2013年度 商学部 商学科 / 2012年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科		
履修開始年次	3年生	単位数	2
		講義コード	22111

主題と概要
コンピュータ利用技術の基礎を学習することを目的とし、代表的なプログラミング言語であるJava言語を題材に、言語仕様、文法等基本的な事項や、アルゴリズムやプログラミングについての演習を行います。また、オブジェクト指向等の応用的な事項についても演習を行います。 具体的には、プログラムの構成、画面出力、変数、定数、演算子、条件分岐（if, switch）、複雑な条件式（and, or）、分岐の入れ子、繰り返し（for, while）、繰り返しの入れ子、配列、クラスの基本、機能、利用、継承といった文法・構文を学び、アプレットとウィンドウ部品の利用について学習します。

到達目標
Javaを使ってプログラムを作成できる。

提出課題
ほぼ毎回、演習課題・小テストを出題する予定です。

評価の基準
平常点（50％）：小テスト、演習課題の結果（ほぼ毎回）、受講態度など 定期試験（50％）：筆記試験 その他：加点方式のボーナス点制度がある（自由課題・ディスカッションの参加・正解の回答・よい質問・ミス指摘など）。

履修にあたっての注意・助言他
演習データを保存するために、USBメモリを用います。遅くとも2回目の講義までに準備し、毎回携帯してください。 。情報処理入門と経済分析のためのプログラミング、を十分習得していることが必要です。この科目は演習を重視する形態をとりますので、自発的に授業時間外の空き時間を利用して、理解を深めてください。基本的に毎回の内容は前回までの積み重ねが前提となるため、毎回の内容を確実に修得する姿勢が必要です。また、それまでのプリント、ノート等を整理した上で毎回の授業にそれらを必ず携帯して下さい。演習課題・小テストの内容によっては、それらを参考にする必要があります。

教科書
.使用せず.

プリント資料及び参考文献
プリント配布の予定。 「明解Java入門編」、柴田望洋、ソフトバンククリエイティブ 「解きながら学ぶJava入門編」、柴田望洋、ソフトバンククリエイティブ 「やさしいJava 第3版」、高橋麻奈、ソフトバンククリエイティブ 「やさしいJava 活用編 第2版」、高橋麻奈、ソフトバンククリエイティブ 「改訂 新Java言語入門 ビギナー編」、林 晴比古、ソフトバンククリエイティブ

授業計画
1 イントロダクション・Javaの概要・操作説明・基本文法・プログラムの構成・画面出力 2 変数・定数・演算子、条件分岐（if文）、複雑な条件式 3 繰り返し1 4 繰り返し2 5 break文、switch case文、制御構造の総合演習 6 配列 7 メソッド1 8 メソッド2 9 クラスとオブジェクト指向1 10 クラスとオブジェクト指向2 11 クラスとオブジェクト指向3 12 クラスとオブジェクト指向4 13 アプレット1 14 アプレット2 15 ウィンドウ部品の利用とまとめ

予習・復習
プログラミング言語Javaをマスターするには、復習と演習が欠かせません。毎回の講義終了後に関連内容を復習するとともに、パソコン演習室や自宅で多数プログラミングの演習を行う必要があります。

備考